

平成20年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	職業教育充実事業費												
予算額	4,000千円	新規・継続事業の別	新規										
事業内容 〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕	<p>1 目的 子どもたちが生きていくためには、社会人・職業人として自立していくことができるようにすることが大切であるため、高校生段階で将来を見通した勤労観・職業観をはぐくむ教育内容の充実を図る。</p> <p>2 内容</p> <table border="1" data-bbox="336 831 1441 1888"> <thead> <tr> <th data-bbox="336 831 635 882">事 項</th> <th data-bbox="635 831 1441 882">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="336 882 635 1133">キャリア教育サポーターの派遣</td> <td data-bbox="635 882 1441 1133"> ▶企業関係者等をキャリア教育サポーターとして登録 ▶府立高校に派遣し、教員への研修や生徒の進路指導を充実 ※ 研究校として5校程度を指定 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1133 635 1391">京都版NPOと連携した体験活動の推進</td> <td data-bbox="635 1133 1441 1391"> ▶NPOが生徒のニーズにあった体験活動の場（企業等）を開拓 ▶個に応じたインターンシップ等体験活動を充実 ※ 全職業学科でインターンシップを拡充 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1391 635 1550">職業学科統括ホームページの開設</td> <td data-bbox="635 1391 1441 1550"> ▶高校生のホームページ作成による職業学科の活性化 ▶職業学科が連携した取組を情報発信することにより生徒の社会性を向上 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1550 635 1888">京都式デュアルシステムの研究</td> <td data-bbox="635 1550 1441 1888"> ▶北部産業活性化拠点・京丹後（仮称）と連携して地域の担い手を育成 ▶京都独自のデュアルシステムの構築により、生徒に高度な専門知識・能力を育成 ※ 北部産業活性化拠点・京丹後（仮称）と連携できる北部の府立高校1校による研究 </td> </tr> </tbody> </table>			事 項	内 容	キャリア教育サポーターの派遣	▶企業関係者等をキャリア教育サポーターとして登録 ▶府立高校に派遣し、教員への研修や生徒の進路指導を充実 ※ 研究校として5校程度を指定	京都版NPOと連携した体験活動の推進	▶NPOが生徒のニーズにあった体験活動の場（企業等）を開拓 ▶個に応じたインターンシップ等体験活動を充実 ※ 全職業学科でインターンシップを拡充	職業学科統括ホームページの開設	▶高校生のホームページ作成による職業学科の活性化 ▶職業学科が連携した取組を情報発信することにより生徒の社会性を向上	京都式デュアルシステムの研究	▶北部産業活性化拠点・京丹後（仮称）と連携して地域の担い手を育成 ▶京都独自のデュアルシステムの構築により、生徒に高度な専門知識・能力を育成 ※ 北部産業活性化拠点・京丹後（仮称）と連携できる北部の府立高校1校による研究
事 項	内 容												
キャリア教育サポーターの派遣	▶企業関係者等をキャリア教育サポーターとして登録 ▶府立高校に派遣し、教員への研修や生徒の進路指導を充実 ※ 研究校として5校程度を指定												
京都版NPOと連携した体験活動の推進	▶NPOが生徒のニーズにあった体験活動の場（企業等）を開拓 ▶個に応じたインターンシップ等体験活動を充実 ※ 全職業学科でインターンシップを拡充												
職業学科統括ホームページの開設	▶高校生のホームページ作成による職業学科の活性化 ▶職業学科が連携した取組を情報発信することにより生徒の社会性を向上												
京都式デュアルシステムの研究	▶北部産業活性化拠点・京丹後（仮称）と連携して地域の担い手を育成 ▶京都独自のデュアルシステムの構築により、生徒に高度な専門知識・能力を育成 ※ 北部産業活性化拠点・京丹後（仮称）と連携できる北部の府立高校1校による研究												
担当課・係名	高校教育課 庶務係	課・係 電話番号	075-414-5846										